

精神看護学実習	3 年・後期	2 単位 2 週間	准教授 鎌田由美子他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210843

1. 授業のねらい・概要

精神看護学の基礎となる，精神医学の基礎的な知識（精神症状および精神状態像）を把握し，代表的な精神障害について，病態，症状，経過，診断，治療，看護等の概略を理解し，精神の健康問題をもつ人への看護を展開するための知識と方法を理解する。

2. 学修の到達目標

1. 精神症状について理解できる。
2. 主な精神疾患の治療と看護が理解できる。
3. 精神障害の治療法について理解できる。
4. 精神科リハビリテーションについて理解できる。
5. 精神障害者の家族支援・家族看護について理解できる。
6. 精神疾患患者の看護過程が理解できる。

3. 授業の進め方

講義・演習を中心に授業を進める。

4. 授業計画（実習/実技）

1. 実習期間：3 年次後期の 2 週間
2. 実習施設：田中病院
3. 実習内容：実習要項の通り

5. 成績評価の方法・基準

実習態度・記録物（記録内容・提出物期限を含む）など，病院実習に関わる事項（80%），筆記試験（20%）で評価する。病院実習に関わる事項および筆記試験の合格基準は各 60%以上とする。どちらか一方でも合格点に達しない場合は，単位認定できない。

6. テキスト・参考文献

精神看護学方法論で用いた資料を参考とするとよい。その他，必要があれば随時紹介する。

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

実習要項で定める事前学習課題について手書きのノートを作成し，実習初日に提出する。不足がある場合には，履修できないことがある。実習中は毎日予習・復習を 60 分以上行い参加すること。

8. 受講上の留意事項

先修条件：精神看護学概論・精神看護学方法論・精神保健論・受け持ち看護実習 必要な感染症対策が出来ていない者は履修できないことがある。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験実施の際に傾向や解答を口頭で説明するか，試験実施後解答を掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

医療機関および行政機関等における看護師・保健師としての実務経験を活かして，実習の指導を行う。